

科学者委員会 研究計画・研究資金検討分科会
化学分野の大型研究計画評価小分科会（第1回）
議事要旨

日時 平成31年4月24日（水）17:30～19:00
会場 日本学術会議 6-B会議室
出席者 阿尻委員、相田委員、加藤委員、君塚委員、菅原委員、関根委員、
茶谷委員、所委員、中村委員、大矢根委員
事務局 犬塚参事官、大澤審議専門職付

配布資料

- 資料1 第1回評価小分科会での確認事項
資料2 マスタープラン2020策定に関わる利益相反排除の方針
資料3 学術大型研究計画策定における審査・評価プロセスについて
資料4 評価小分科会及び委員の役割
資料5 マスタープラン2017において重点大型研究計画に選定された区分
Iの研究計画で、継続条件を満たしかつ継続を希望する研究計画の
継続審査について
資料6 区分IIの研究計画の適否のチェックについて
資料7 化学分野の応募提案一覧【非公開資料】
- 参考1 小分科会委員名簿
参考2 第24期学術の大型施設計画・大規模研究計画に関するマスター
プラン策定の方針
参考3 公募要領
参考4 学術研究領域コード表

議 題

- 1) 役員の選任について
互選により、委員長として中村委員が、副委員長として菅原委員が、幹
事として関根委員がそれぞれ指名され、出席委員から承認された。
なお、議事要旨については各委員で内容確認後、委員長に一任するこ
と、また、委員間でメールアドレスを共有することが承認された。
- 2) 利益相反についての考え方の確認
研究計画・研究資金検討分科会委員でもある大矢根委員より、審査におけ

る利益相反についての考え方の説明があった。

3) 評価小分科会における審議事項等

研究計画・研究資金検討分科会委員でもある大矢根委員より、資料について説明があった。

4) 取りまとめの審議の方法の決定

本小分科会では、各委員による評価の後に行う、区分Ⅰ（学術研究領域で融合領域（コード32-1）を選択した提案を除く）の順位づけのとりまとめの審議の方法を、③にすることとした。

- ① 委員間でメール等による議論を行ったうえで、最終的な判断は委員長（又は役員）による一任とする。
- ② 第2回小分科会を開催して決定する
- ③ 第2回小分科会をメール審議で開催して決定する
- ④ その他（具体的な方法をご記入ください）

5) 今後のスケジュール

資料に沿って確認が行われた。

文責 関根